



菅野 正八さん(93)
あきさん(92)
豊里町・上町
1953(昭和28)年10月入籍

夫婦で100歳を迎えたいね

★二人のなれ初めは
【正八】親父が始めた畳屋を手伝ってた時、何回か仕事に行った家の縁で、紹介してもらったね。「けっから」「んで、もらうがら」って(笑)。よく嫁に来てくれたでば。
【あき】父は、手に職があるからいいと思ったみだい。
★お互いの第一印象は
【正八】美人だと思ったよ。
【あき】昔のことだし忘れてしまったでば(笑)。
★結婚当時の思い出は
【正八】結婚して1年半で畳屋として独立したが、随分苦勞させだな。
【あき】苦勞の分、出雲、天橋立、長崎とか、いろんな所に旅行に連れてってもらったね。
★お互いの性格は
【正八】真面目で芯が強いね。
【あき】職人気質で頑固だね。
★現在の楽しみは
【二人】二人で散歩や日なたぼっこするのもいいけど、デイサービスに行つて、みんなと話語りするの楽しいね。
★夫婦円満のコツは
【あき】我慢しないことだね。
【正八】けんかしなごどがな。今更けんかしたって、しゃあねえしな。
★これからしたいことは
【二人】元気に長生きしたいね。二人で100歳が目標だね。

One's Home

ふるさとへの思い

Monthly Hot Communication

「小さい頃の手伝い」

月日が経つのは早いもので、上京してはや60年近くになります。この年になって、故郷のことで思い浮かぶのは、小中学時代のわんぱくだった頃に野山を駆け回って遊んだことや、農繁期の手伝いのことです。
わが家は農家でしたので、忙しい時の手伝いは当然のこと、特に田植え時期は早朝から夕暮れまで田んぼに出て作業する毎日でした。中でも代掻き作業はきつ、馬の鼻取り作業など、子どもの私にとって大変な重労働でした。
泣き言を言わず、親や兄の姿を見ながら手伝った日々。代掻きの鼻取り作業は何度も重ね回り、土を柔らかくし

千葉 哲朗さん(77)

東京いしこし監事
石越町(第十)出身



て田植えに備えなければならず苦勞しました。時を見計らって、兄がしていた後取りの操作を代わってもらい、その馬鍬に乗ることができたうれしさは今でも脳裏に焼き付いています。そうした中で、午前、午後のたばこ小休止・小昼を楽しみに待ったものです。
田植えは、隣近所10人ぐらいで一斉に並んで植える手法です。苗運びや植え手への苗配りは、子どもながらにタイムングを外さないように一生懸命でした。忙しく動き回っていると、あせから足を滑らせたり、泥を浴びたりしながら手伝っていました。
学校は、早朝に登校し、黒板に名前を書くことで早退扱いになる良き時代でした。今では、農作業は機械化された代掻きや田植え作業などの風景は一変しました。
振り返りますと、私は1960(昭和35)年ごろに上京し、40年近く農業機械の開発・改良・検査をする仕事に携わってきました。小さい頃の農業が過酷だったことを考え、重労働から解放するための仕事に従事してこれたのも、根底に故郷があったからだと感じています。

おらほの産直

農産物直売所「産直なかだ愛菜館」



やわらかく、ふわっとした食感を大切に、焼き立てのパンが並びます。

今月は、農産物直売所「産直なかだ愛菜館」の志田政彦店長と「パン&菓子工房H.A.I.J.I」の菅原和哉オーナーシェフにお話を伺いました。
Q お勧め商品などを教えてください
【志田】地の物野菜を取りそろえているので、野菜の新鮮さには自信があります。また、隣接する加工場で作られるパンも人気がありますね。
【菅原】2018年2月から火、木、金、土曜限定で焼き立てのパンを提供しています。売れ筋は、ピーナツパンとちぎりパン。ほかにも、あんぱ



生産者の只野さん、たくさんの生産者が毎日新鮮な野菜を届けてくれます

ん、クリームパン、メロンパン、クロワッサンなどの定番商品や米粉パンを作っています。また、牛乳と卵を一切使わないアレルギーに対応したパンも扱っています。
子ども会、地域の集まり、ホームパーティーなど、さまざまなイベント時の予約販売も承っており、イベントの10日前までに連絡をいただければ、希望に合わせたパンをご用意できます。
Q これから開催されるイベントなどを教えてください
【志田】本年5月に開館15周年を迎え、記念イベントを考えています。期間中は記念タオルのプレゼントなどを予定していますので、ぜひお越しください。
【問い合わせ】
▼農産物直売所「産直なかだ愛菜館」
0220(35)3050
▼パン&菓子工房H.A.I.J.I
080(9019)6856

まちの文芸
短歌

作品募集!
●7月号は俳句・川柳です。住所・氏名・電話番号を記入し、5月31日(金)まで応募ください。作品・氏名には全てふりがなを振ってください。
●応募者多数の場合選考して掲載します。

朝刊と牛乳瓶の擦れ音
暁前の目覚ましなりき
春日和庭の草取り始めるか
手足のばせばすずめらの声
萌え出づる山肌の新葉の濃淡は
パッチワークに早春の手芸か
訪ね来し妹の手にフリージアの花束ありてわが古希となる
元号の発表の日に朝日差し
煌めきて咲く庭のアネモネ

鈴木 巖優 (登米)
千葉 良子 (東和)
及川 慎一 (中田)
熊谷たかよ (中田)
熊谷タヘ子 (中田)

スイッチオンアクセラレーキウインカー
頭の体操老いの運転
若き日に返る思いでミニデイで
体力つけんと友等と努む
脚弱り手押し車で散策す
鶯の声峽に聞きつつ
車窓より眺むる故郷の風景や
梅、桃、桜、新緑に映えて
香立ち梅の花咲つ我が庭に
いにしえ徳ぶ令和の響

佐々木栄一 (中田)
千葉 源治 (中田)
本宮やつの (中田)
石崎よしの (米山)
佐々木まき (石越)